

小中学生が力強く書き初め

八ヶ岳総合 博物館

茅野

茅野市八ヶ岳総合博物館



講師に指導を受けながら書き初めに取り組む子どもたち

で4日、「博物館で書き初め」が行われた。同館と諏訪ユネスコ協会共催で、市内を中心に小中学生約20人が参加。講師の指導を受けながら、それぞれ書き初めに取り組んだ。同館ではコロナ禍前まで元旦にイベントを開いており、その一環で書き初めを行っていた。昨年からイベントは小正月の開催となり、今年初め

て書き初めのみを開催。書道がユネスコ無形文化遺産への提案がされていることから、同協会との共催で実施した。同協会理事の平出信次さん(65)＝原村＝らを講師に、子どもたちは年末年始休みの宿題になっている課題などを繰り返し練習。「腕でしっかりと筆を運んで力強く書いて」となどと助言を受けながら集中して取り組み、上達を目指した。最後に大きな用紙に今年の抱負の寄せ書きも行った。玉川小5年の原慈希さん(11)は「はねやとめをしつかり教えてもらえて、少し上達した。書道は楽しい」と話していた。